

あなたの“癌リスク”と“早期診断検査” そして“頻度”を見る世界初の遺伝子検査

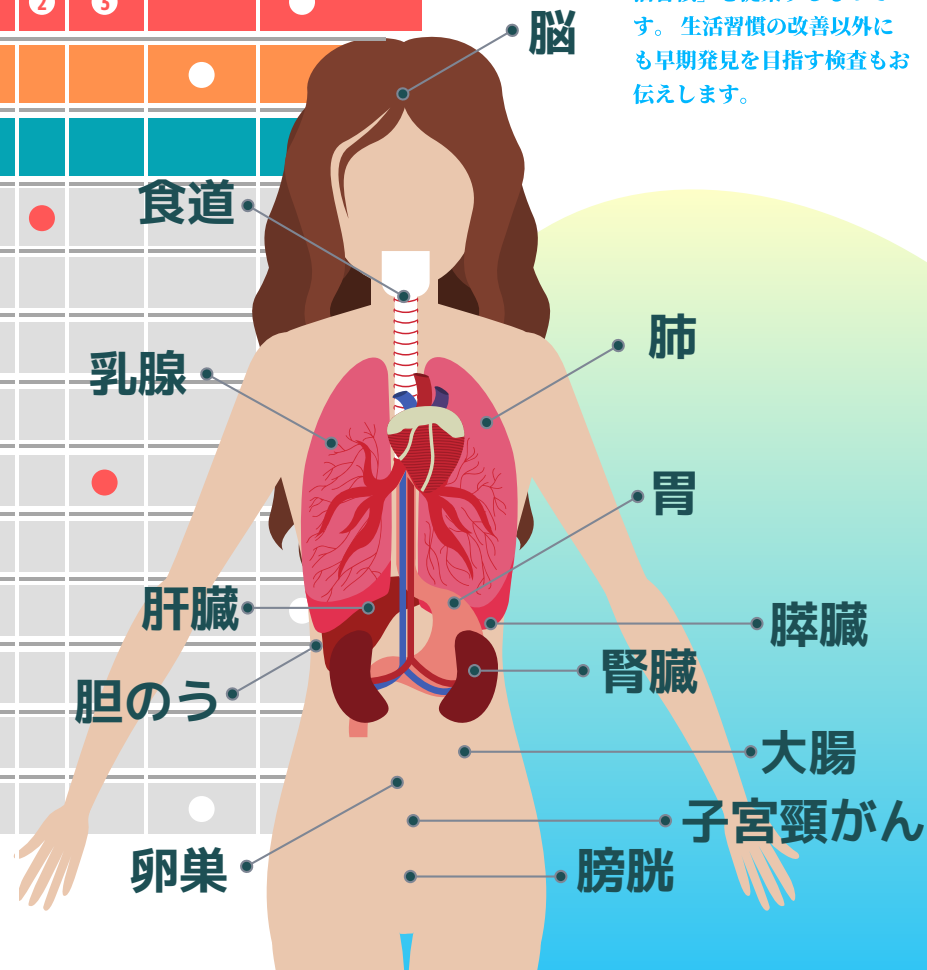
- 遺伝子リスクからみた最も重要な検査
- 遺伝子リスクからみた重要な検査
- ▲ 遺伝子リスクは低いができる限りすべき検査

体の種々の臓器のがんは、がんになりやすい体質(遺伝子リスク)の人が、なりやすい生活習慣を継続することにより、がん細胞が年余の時間をかけて増殖していき、発病にいたるとされています。

がんの発病にはさまざまな原因があり、家族性のがん以外では発症しやすい人を生活習慣や血液検査だけで診断することは困難です。今回のがん遺伝子検査は、特にアジア人に多いとされる14種のがんの「がんを起こしやすくなる関連遺伝子」を解析し、あなたにとってハイリスクのがんを明らかにするとともに、

がんのリスクを下げる「生活習慣」を提案するものです。生活習慣の改善以外にも早期発見を目指す検査もお伝えします。

	肺	胃	乳腺	大腸	肝臓	子宮頸部	食道	膵臓	腎臓	胆のう	脳	膀胱	白血病	卵巣
要注意	①				●						②	③		●
注意		●		●	●									●
平均的			●				●	●	●	●				
頭部CT/MRI											●			
胸部CT	●													
超音波検査		●												
胃カメラ			▲				▲	▲	▲	▲				
胃バリウム検査			▲				▲	▲	▲	▲				
腹部超音波検査					●									
腹部CT/MRI			▲	●	●	●								
便潜血				●										
尿細胞診														
血球計数検査														●



※ マンモグラフィは若い女性には向きません。超音波検査は比較的若い女性向きの検査です
※ 胃カメラをすれば胃バリウム検査は不要